英文法 L01 第 7 講 be 動詞と一般動詞

学習目標

be 動詞と一般動詞の基本的な意味・文の組立てを区別することができる。

1. be 動詞と一般動詞の違い

英語の動詞には、be 動詞と一般動詞がある。どちらも文の中心となる動詞だが、主語について何を述べるか、後ろにどのような語句を続けるかが異なる。

be 動詞と一般動詞

be 動詞とは、主語が何者なのか、どのような様子なのか、どこにいるのかなどを述べるときに使う動詞である。基本的な現在の形には、am・is・are がある。

一般動詞とは、be 動詞以外の動詞である。人や物の動作だけでなく、気持ちや知識などの状態も表す。

代表例は、play（〜をする）、read（〜を読む）、like（〜が好きだ）、know（〜を知っている）などである。

be 動詞は何を述べるのか

be 動詞を使う次の 3 つの文を比較する。

英文	和訳	述べている内容
She is happy.	彼女は幸せだ。	主語の様子・状態
She is a teacher.	彼女は教師だ。	主語の職業・属性
She is in the room.	彼女はその部屋にいる。	主語の所在

happy（幸せな）は形容詞、a teacher（教師）は名詞を中心とするまとまり、in the room（その部屋に）は場所を表す語句である。

最初の 2 文では、be 動詞の後ろが主語の様子や職業を説明している。第 3 文では、主語がどこにいるかを表している。

be 動詞の意味

be 動詞を「主語＝後ろの語句」と考えると、職業や特徴を表す文は理解しやすい。しかし、場所を表す文まで単純なイコール関係として説明することはできない。

be 動詞は、後ろに続く語句とともに、主語の属性・状態・所在などを述べる動詞だと理解する。

一般動詞は何を述べるのか

一般動詞を使う文では、動詞そのものが具体的な動作や状態を表す。

英文	和訳	一般動詞の意味
He plays soccer.	彼はサッカーをする。	動作
I like music.	私は音楽が好きだ。	好み・気持ち
We know the answer.	私たちはその答えを知っている。	知識・状態

©ミライコーチング

このように、一般動詞が表す内容は動作だけではない。

like（〜が好きだ）や know（〜を知っている）も一般動詞であるため、「be 動詞＝状態、一般動詞＝動作」という分け方だけでは不十分である。

2. 同じ人物を 2 種類の動詞で説明する

次の図では、同じ成人の人物を、説明上 he（彼）と呼ぶ。

左側はその人物が何者なのか、右側はその人物が何をするのかに注目した場面である。



図 1　同じ人物について「何者か」と「何をするか」を述べる

左：He is a tennis player.

彼はテニス選手だ。

右：He plays tennis.

彼はテニスをする。

左の文では、be 動詞 is を使い、その人物がテニス選手であることを述べている。

右の文では、一般動詞 plays を使い、その人物がテニスをすることを述べている。

右の場面は、その人物の普段の活動を代表するものである。この文を「今この瞬間にボールを打っている」という意味に限定してはいけない。

文の組立てを比較する

S は主語、V は動詞、C は主語などの内容を説明する補語、O は動詞が表す動作・状態などの対象となる目的語である。

比較項目	be 動詞の文	一般動詞の文
基本的な組立て	主語＋be 動詞＋説明する語句	主語＋一般動詞＋必要な語句
動詞の例	is	plays
後ろの語句の例	a tennis player（テニス選手）	tennis（テニス）
文の骨格の例	S＋V＋C	S＋V＋O

be 動詞の文では、主語の説明を後ろに続ける形がある。一方、一般動詞の文では、一般動詞が表す内容に応じて、目的語などを続けることがある。

be 動詞と一般動詞を並べるときの注意

この講で扱う通常の肯定文では、be 動詞と一般動詞をそのまま続けて、1 つの動詞の働きをさせることはしない。

例えば「彼はテニスをする」と述べるとき、is と plays を続けるのではなく、主語に合った一般動詞 plays を使う。

動詞には別の組立て方もあるが、それらは後の講で扱う。

3. 主語に応じて動詞の形が変わる

be 動詞と一般動詞の違いは、意味だけではない。主語によって動詞の形が変わる点も重要である。

人称と単数・複数

人称とは、主語が話し手・聞き手・それ以外の誰を指すかという区別である。

単数は 1 人または 1 つ、**複数**は 2 人以上または 2 つ以上を表す。

主語の人称と数に応じて、動詞の形を選ぶ。

be 動詞の am・is・are

主語	be 動詞
I（私）	am
you（あなた・あなたたち）	are
he（彼）・she（彼女）・it（それ）	is
1 人・1 つを表す名詞	is
we（私たち）・they（彼ら・それら）	are
複数を表す名詞	are

同じ内容でも、主語が変われば be 動詞の形が変わる。

英文	和訳
I am a student.	私は生徒だ。
You are a student.	あなたは生徒だ。
He is a student.	彼は生徒だ。
They are students.	彼らは生徒だ。

a student（1 人の生徒）と students（複数の生徒）という名詞の形にも違いがある。

ただし、be 動詞が am・is・are のどれになるかは、後ろの名詞ではなく、主語を基準に判断する。

一般動詞と三単現の s

一般動詞の基本形のうち、形を変える前のものを**原形**という。

この講で扱う一般動詞の肯定文では、主語が三人称単数のとき、動詞に原則として s を付ける。

三人称単数とは、話し手でも聞き手でもない 1 人または 1 つを指す主語のことである。he・she・it や、1 人の人名などが当てはまる。

この形の変化を、**三単現の s** という。

©ミライコーチング

主語	play（テニスをする）の形	英文と和訳
I（私）	play	I play tennis.（私はテニスをする。）
you（あなた）	play	You play tennis.（あなたはテニスをする。）
he（彼）	plays	He plays tennis.（彼はテニスをする。）
they（彼ら）	play	They play tennis.（彼らはテニスをする。）

主語が he の場合は plays となるが、I・you・they の場合は play のままである。

ほかの一般動詞にも、同様に s を付けるものがある。

- like（〜が好きだ）→ likes（三人称単数に対応する形）
- know（〜を知っている）→ knows（三人称単数に対応する形）
- read（〜を読む）→ reads（三人称単数に対応する形）

一般動詞の三単現には、s 以外の付け方をするものもある。ここでは、基本となる s の形を押さえる。

動詞の形を決める手順

1. 主語が何を指すかを確認する。
2. 主語について、属性・状態・所在などを述べる be 動詞の文なのか、動作や好み・知識などを表す一般動詞の文なのかを判断する。
3. be 動詞なら am・is・are、一般動詞なら主語に応じた原形または三単現の形を選ぶ。

主語の人称と数は、動詞の形を決める重要な手がかりとなる。

4. 例題

ここでは、現在形の通常の肯定文を作るものとして、最も適切な選択肢を選ぶ。

1

次の英文の空所に入る最も適切な語を A〜D から 1 つ選べ。

My father (　　) a science teacher at this school.

- A. am
- B. are
- C. is
- D. be

解答・解説

正解
C. is

完成文・和訳
My father is a science teacher at this school.

私の父はこの学校の理科の教師だ。

判断の決め手
まず主語は My father（私の父）であり、1 人の人物を表している。

次に、後ろの a science teacher（理科の教師）は、主語の職業を説明している。したがって、ここでは be 動詞を使う。

My father は三人称単数の主語なので、対応する be 動詞は is である。

各選択肢の理由
- **A. am：誤り。** am は主語が I（私）のときに使う形である。
- **B. are：誤り。** are は you や複数の主語などに対応する形である。
- **C. is：正しい。** 1 人の人物を表す My father に対応する be 動詞であり、後ろの職業を表す語句にも自然につながる。
- **D. be：誤り。** be は原形であり、この肯定文では主語に合う is を使う必要がある。

2

次の英文の空所に入る最も適切な語を A〜D から 1 つ選べ。

She (　　) English books with her friends after school.

- A. read
- B. reads
- C. is
- D. are

解答・解説

正解
B. reads

完成文・和訳
She reads English books with her friends after school.

彼女は放課後、友達と英語の本を読む。

判断の決め手
主語は She（彼女）であり、三人称単数である。

空所の後ろには English books（英語の本）があり、文全体では本を読むという行為を述べている。

そのため、一般動詞 read（〜を読む）を使う。

ただし、主語が She なので、原形 read ではなく、三単現の s を付けた reads を選ぶ。

各選択肢の理由
- **A. read：誤り。** 一般動詞としての意味は合っているが、現在形では三人称単数の She に対応する形ではない。
- **B. reads：正しい。** 本を読むという意味を表し、主語 She に合わせた三単現の形になっている。
- **C. is：誤り。** 主語に対応する be 動詞の形ではあるが、後ろの English books と組み合わせても、本を読むという内容にはならない。
- **D. are：誤り。** She に対応する be 動詞ではなく、本を読むという意味にもならない。

5. 演習問題

ここでは、現在形の通常の肯定文を作るものとして、最も適切な選択肢を選ぶ。

1

次の英文の空所に入る最も適切な語を A〜D から 1 つ選べ。

I (　　) very happy at my new school.

- A. is
- B. am
- C. are
- D. be

2

次の英文の空所に入る最も適切な語を A〜D から 1 つ選べ。

Our parents (　　) in the living room.

- A. is
- B. be
- C. am
- D. are

3

次の英文の空所に入る最も適切な語を A〜D から 1 つ選べ。

The boy (　　) in the school library.

- A. are
- B. be
- C. is
- D. am

4

次の英文の空所に入る最も適切な語を A〜D から 1 つ選べ。

You (　　) very kind to your friends.

- A. are
- B. am
- C. is
- D. likes

©ミライコーチング

5

次の英文の空所に入る最も適切な語を A〜D から 1 つ選べ。

The girl (　　) soccer with her friends after school.

- A. plays
- B. play
- C. are
- D. is

6

次の英文の空所に入る最も適切な語を A〜D から 1 つ選べ。

We (　　) the food at this restaurant.

- A. likes
- B. like
- C. am
- D. is

7

次の英文の空所に入る最も適切な語を A〜D から 1 つ選べ。

The students (　　) books in the library after class.

- A. reads
- B. is
- C. am
- D. read

8

次の英文の空所に入る最も適切な語を A〜D から 1 つ選べ。

My grandfather (　　) this old song very well.

- A. know
- B. are
- C. knows
- D. is

演習問題の解答・解説

1

正解
B. am

完成文・和訳
I am very happy at my new school.

私は新しい学校でとても幸せだ。

判断の決め手
主語は I（私）である。

後ろの very happy（とても幸せな）は主語の状態を説明する語句なので、be 動詞を使う。

主語が I の場合、be 動詞は am になる。

各選択肢の理由
- **A. is：誤り。** is は he・she・it などの三人称単数に対応する形である。
- **B. am：正しい。** I に対応する be 動詞であり、後ろの状態を表す語句にもつながる。
- **C. are：誤り。** are は you や複数の主語などに対応し、I には使わない。
- **D. be：誤り。** be は原形であり、この肯定文では am にする必要がある。

2

正解
D. are

完成文・和訳
Our parents are in the living room.

私たちの両親は居間にいる。

判断の決め手
主語は Our parents（私たちの両親）であり、複数の人物を表す。

in the living room（居間に）は場所を表す語句であり、主語がどこにいるかを述べている。

複数の主語に対応する be 動詞は are である。

各選択肢の理由
- **A. is：誤り。** is は三人称単数に対応し、複数の parents には合わない。
- **B. be：誤り。** be は原形であり、この肯定文では主語に応じた形が必要である。
- **C. am：誤り。** am は I に対応する形である。
- **D. are：正しい。** 複数の主語 Our parents に対応し、所在を表す文を作る。

3

正解
C. is

完成文・和訳
The boy is in the school library.

その少年は学校の図書館にいる。

判断の決め手
主語の The boy（その少年）は 1 人の人物を表す。

後ろの in the school library（学校の図書館に）は、その少年の所在を表している。

The boy は三人称単数なので、be 動詞は is になる。

各選択肢の理由
- **A. are：誤り。** are は you や複数の主語などに対応し、単数の The boy には合わない。
- **B. be：誤り。** be は原形であり、この肯定文では is を使う。
- **C. is：正しい。** 三人称単数の The boy に対応し、後ろの場所を表す語句にも自然につながる。
- **D. am：誤り。** am は I に対応する形である。

©ミライコーチング

4

正解
A. are

完成文・和訳
You are very kind to your friends.

あなたは友達にとても親切だ。

判断の決め手
主語は You（あなた）である。

very kind（とても親切な）は主語の性質を説明しているので、be 動詞を使う。

you が 1 人を指す場合も複数を指す場合も、対応する be 動詞は are である。

各選択肢の理由
- **A. are：正しい。** You に対応する be 動詞であり、後ろの形容詞 kind とつながる。
- **B. am：誤り。** am は I に対応する形であり、You には使わない。
- **C. is：誤り。** is は三人称単数に対応する形であり、You には使わない。
- **D. likes：誤り。** likes は一般動詞 like の三人称単数形である。主語 You に合わず、後ろの very kind という形容詞のまとまりとも、この文で意図する意味ではつながらない。

5

正解
A. plays

完成文・和訳
The girl plays soccer with her friends after school.

その女の子は放課後、友達とサッカーをする。

判断の決め手
主語は The girl（その女の子）であり、三人称単数である。

文全体ではサッカーをするという活動を述べているため、一般動詞 play を使う。

主語が三人称単数なので、play に s を付けた plays が適切である。

各選択肢の理由
- **A. plays：正しい。** サッカーをするという意味を表し、三人称単数の The girl にも対応する。
- **B. play：誤り。** 一般動詞としての意味は合っているが、The girl に必要な三単現の s がない。
- **C. are：誤り。** 複数の主語などに対応する be 動詞であり、The girl には合わない。
- **D. is：誤り。** The girl に対応する be 動詞の形ではあるが、後ろの soccer と組み合わせても、サッカーをするという活動を表す文にはならない。

6

正解
B. like

完成文・和訳
We like the food at this restaurant.

私たちはこのレストランの料理が好きだ。

判断の決め手
主語は We（私たち）であり、複数の人物を表す。

この文では料理に対する好みを述べている。like（〜が好きだ）は、動作ではなく好みを表す一般動詞である。

主語が We の場合、一般動詞は原形 like を使う。

各選択肢の理由
- **A. likes：誤り**。 likes は三人称単数に対応する形であり、We には使わない。
- **B. like：正しい**。 好みを表す一般動詞であり、主語 We に対応する原形になっている。
- **C. am：誤り**。 am は I に対応する be 動詞であり、We には使わない。
- **D. is：誤り**。 is は三人称単数に対応する be 動詞であり、We には合わない。料理が好きだという内容にもならない。

7

正解
D. read

完成文・和訳
The students read books in the library after class.

その生徒たちは授業後、図書館で本を読む。

判断の決め手
主語は The students（その生徒たち）であり、複数を表す。

後ろの books（本）を読むという内容なので、一般動詞 read を使う。

三単現の s が必要なのは三人称単数の場合である。The students は複数なので、read のまま使う。

各選択肢の理由
- **A. reads：誤り**。 reads は三人称単数に対応する形であり、複数の The students には合わない。
- **B. is：誤り**。 is は三人称単数に対応する be 動詞であり、主語の数に合わない。本を読むという意味も作れない。
- **C. am：誤り**。 am は I に対応する be 動詞であり、The students には使わない。
- **D. read：正しい**。 本を読むという意味を表し、複数の主語に対応する一般動詞の形になっている。

8

正解
C. knows

完成文・和訳
My grandfather knows this old song very well.

私の祖父はこの古い歌をよく知っている。

判断の決め手
主語は My grandfather（私の祖父）であり、1 人の人物を表す三人称単数である。

「知っている」という知識の状態を表す場合には、一般動詞 know を使う。

三人称単数の主語に合わせて s を付け、knows とする。

各選択肢の理由
- **A. know：誤り**。「知っている」という意味は合っているが、三人称単数に必要な s がない。
- **B. are：誤り**。are は you や複数の主語などに対応する be 動詞であり、My grandfather には合わない。
- **C. knows：正しい**。知識の状態を表す一般動詞であり、三人称単数の主語にも対応している。
- **D. is：誤り**。My grandfather に対応する be 動詞の形ではあるが、後ろの this old song very well という語句とは、この文で意図する「歌をよく知っている」という意味でつながらない。

©ミライコーチング